

# 福島研究開発部門

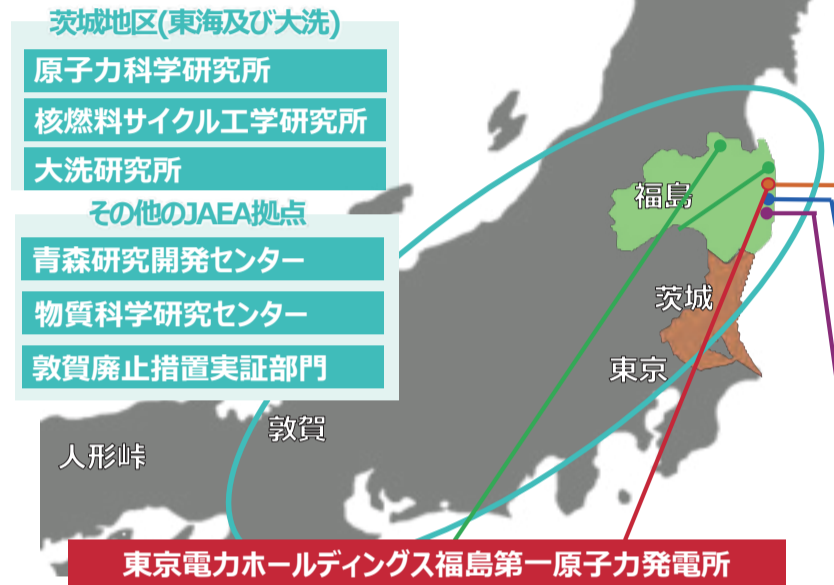
## 福島の復興に向けて

東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所（1F）事故の対応として、国内外の英知を結集して、**廃止措置**と**福島の環境回復の研究開発**に取り組んでいます。

研究成果の情報発信や社会実装を進め、**福島の復興に貢献**していきます。

### 福島研究開発部門の研究拠点

全国の研究拠点の施設・人材の総力を結集 **青森**



### 廃止措置研究開発

中長期ロードマップに基づく研究開発

- 燃料デブリの取扱い
- 放射性廃棄物の処理処分
- 遠隔計測技術 等

#### 大熊分析・研究センター

- ・放射性廃棄物や燃料デブリの分析・研究
- ・ALPS処理水の第三者分析・評価



#### 廃炉環境国際共同研究センター(CLADS)

- ・廃止措置と環境回復の研究開発を統合して進める中核的役割
- ・燃料デブリの取扱い、遠隔計測等の研究
- ・国内外の人材ネットワークの構築



#### 檜葉遠隔技術開発センター(NARREC)

- ・遠隔操作機器・装置類の開発・実証試験
- ・デジタル技術の適用と高度化



### 環境回復研究開発

福島復興再生基本方針に基づく研究開発

- 環境動態等に係る研究
- 環境モニタリング・マッピングに関する技術開発

廃炉環境国際共同研究センター(CLADS)  
(福島県環境創造センター(三春町、南相馬市)に入居して活動)

- ・福島県、国立環境研究所と連携して研究開発を実施



### 研究開発成果の社会実装の取組み（環境回復）

#### FaCE!S -福島総合環境情報サイト-

みなさまの素朴な**疑問に総合的にお答えする**サイトです。

放射性物質モニタリングデータ



根拠情報Q&Aサイト



このような疑問が生まれたときに、ぜひご覧ください。

「福島第一原子力発電所の事故後に環境中に分布した放射性セシウムは今、どうなっているのか」  
「これからどうなるのか」  
「私たちはどのようなことに気をつけなければならないのか」

#### SEED -被ばく線量シミュレーションシステム-

行動パターンでの外部被ばく線量を**簡単に予測**できるシミュレーションです。



【実装例】

大熊町役場HPの環境情報サイネージに採用されています。  
(<https://simulation.okuma-town.jp/sess/makePattern/>)

令和4年度 福島研究開発部門  
成果報告会のご案内

廃炉と環境回復  
研究開発の今までとこれから  
2022.12.6 (火)

#### 音声ガイド



福島研究開発部門は2011年の1F事故直後から福島県内で活動してまいりました。今回は研究開発を通じた福島の復興を目指す我々の活動をご紹介します。



【担当者】  
福島研究開発拠点  
福島事業管理部  
総務課  
新居 実佳